

2024年度 お茶の水女子大学大学院  
人間文化創成科学研究科（博士前期課程）

ジェンダー社会科学専攻

一般入試・社会人特別入試・外国人留学生入試  
専 門 試 験

試 験 日 : 2023 年 9 月 3 日(日)

試 験 時 間 : 9時30分 ~ 11時30分

【注意事項】

1. 問1、問2、問3のうち、2問を選んで解答しなさい。
2. 設問ごとにそれぞれ別の答案用紙に解答を記入すること。
3. 日本語で解答すること。

## 問1

以下の文章はアマルティア・センの『自由と経済開発』の一節である。これを読んで(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) センの見解によると、開発不足の原因や開発への障壁とは何とされるか。

(2) 傍線の部分は具体的にどういう意味か。自身の言葉に言い換え、具体例を用いて説明しなさい。

(3) センの見解において、どのような概念的、または実践的な利点と限界があると思うか。

この部分に記載されている文章については、  
著作権法上の問題から掲載することが  
できませんので、ご了承願います。

出典：アマルティア・セン、石塚雅彦訳、2000年、『自由と経済開発』日本経済新聞社、1-2頁。

## 問2

次の英文はフェミニスト批評家ベル・フックスが、アパラチア山脈の石炭採掘について論じた場所論の一節である。これを読んで（1）、（2）の問いに答えなさい。

この部分に記載されている文章については、  
著作権法上の問題から掲載することが  
できませんので、ご了承願います。

(1) 下線部①について、人々を自然環境から引き離すことを「文化的な闘い」とみなした理由を述べなさい。

(2) 下線部②について、coal は resources でもあると考えたときに、あなたは下線部②をどのように解釈するか論じなさい。なお以下の語句から、いくつかを選んで論じること。

語句：貧困・労働者階級、資本主義、人間と大地、地球史、ローカルな文化

### 問3

1990年代以降の日本では、様々な社会的要因や経済的要因などによって少子化が進行しているとの認識のもと、出生率の回復をめざす政策が実施されてきた。現在あるいは近い将来の少子化が問題となっている国をひとつ挙げ、その国の少子化がどのような要因によってもたらされているか、そしてどのような政策が出生率を向上させる可能性があるかを論じなさい。